

豊川水系河川整備計画 (大臣管理区間)に基づく 河川整備の実施状況



目次

河川工事

- ・河川整備計画施工箇所位置図・・・・・・・・・・ 3
- ・霞堤対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・河道改修及び河川環境の整備と保全・・・・ 5
- ・内水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・耐震対策
- ・設楽ダムの建設・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

河川維持

- ・平常時の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・洪水時の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ・水質事故への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ・水質監視・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ・河川情報システムの整備・・・・・・・・・・・・ 22
- ・豊川流況総合改善事業・・・・・・・・・・・・ 23

その他の事項

- ・調査研究等の推進
- ・河川情報の公開・提供の促進・・・・・・・・・・ 28
- ・河川の協働管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ・刈草の有効利用
- ・防災意識の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

流域圏一体化

- ・関係機関・地域住民との連携・・・・・・・・・・ 33
- ・三河湾浄化への取り組み・・・・・・・・・・・・ 36

河川工事

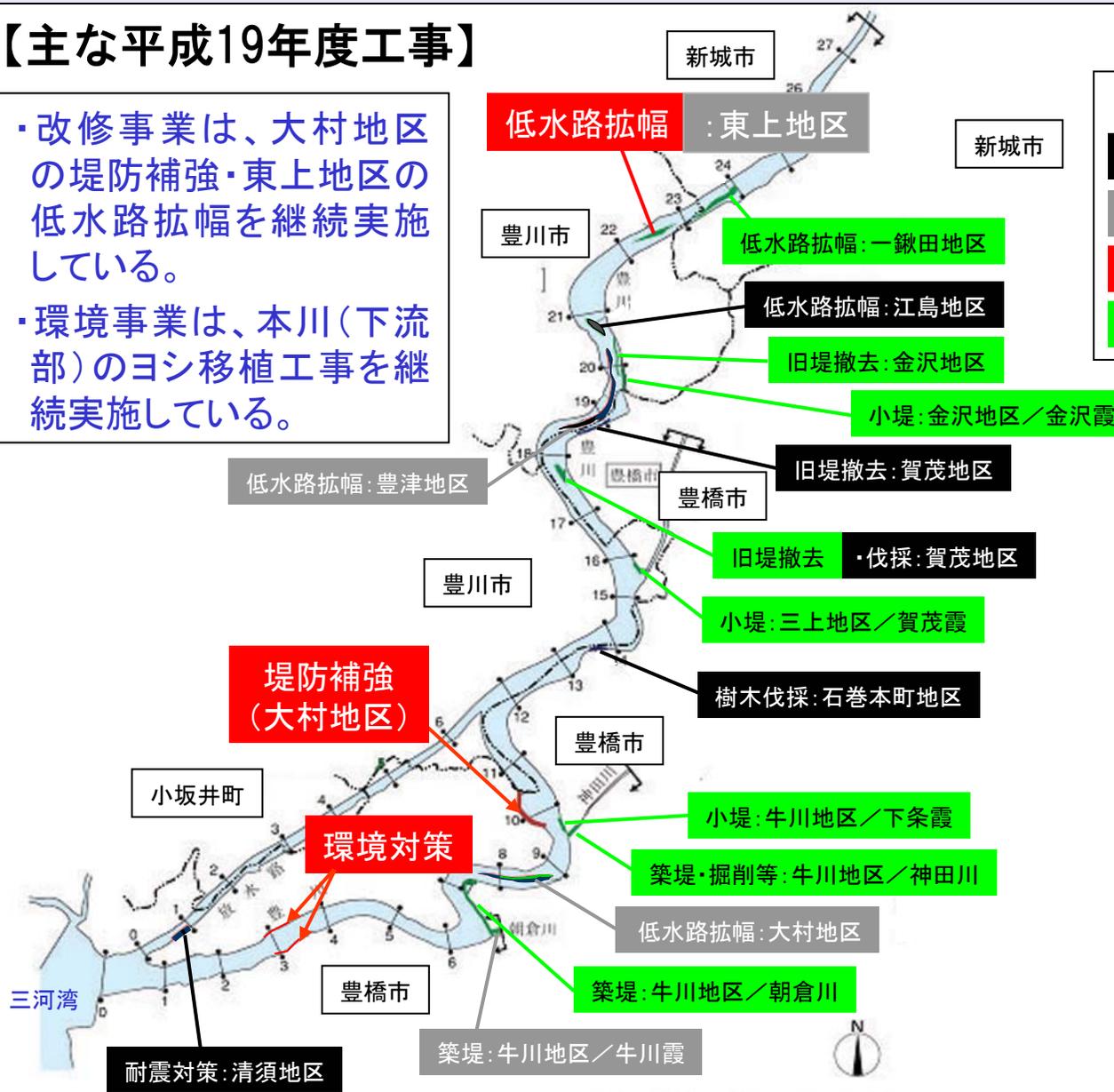
- ・ 河川整備計画施工箇所位置図
- ・ 霞堤対策
- ・ 河道改修及び河川環境の整備と保全
- ・ 堤防補強
- ・ 内水対策
- ・ 設楽ダム建設

河川整備計画施工箇所位置図

河川工事

【主な平成19年度工事】

- ・改修事業は、大村地区の堤防補強・東上地区の低水路拡幅を継続実施している。
- ・環境事業は、本川(下流部)のヨシ移植工事を継続実施している。

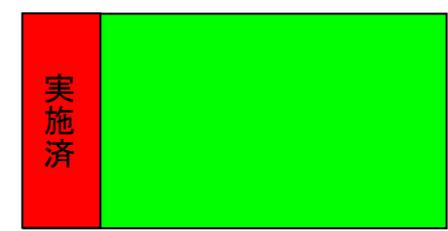


施工箇所位置図

凡例

黒文字	整備済箇所(平成18年度末)
灰文字	実施中箇所(一部整備済)
赤文字	平成19年度整備箇所
緑文字	未整備箇所

約16%



進捗率: H19年度末時点
(事業費ベース)

事業進捗率

霞堤対策

河川工事

- ・現在、豊川の左岸側には、4つの霞堤が残っています。
- ・最下流の牛川霞堤は、築堤を延伸してきました。今後も地元豊橋市と土地利用計画等と調整を図りながら無堤部を解消していきます。
- ・下条、賀茂、金沢の霞堤については、小堤の計画や土地利用規制等のソフト対策について、引き続き地元関係者と調整を図り、事業を推進していきます。



洪水被害どう「減災」?



豊橋でとよがわ防災フォーラム

パネリスト5人意見交換

国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所は7日、豊橋市公会堂で、「とよがわ防災減災フォーラム」防災意識の伝承」を開催した。本学教授、消防団長、気象予報士など5人のパネリストが、古くから洪水被害の多い豊川での被害を最小限にするための方策を出し合い、約300人が聞いた。

豊川は流域が狭いなど、温暖化の影響で集中雨地形的な理由から過去に増え、今後洪水のリスクを繰り返す。昭和40年代は「高まる」と指摘し、年に放水路の完成後も、昭和44年には大洪水が発生、流域に大きな被害をもたらした。気象予報士の山本正樹さんは「地球の山本正樹さんは「地球の山本正樹さんは「地球の山本正樹さんは」を再評価。今も金沢、賀茂、下条、牛川の4地区に残り「先人の知恵を継ぎ、洪水から地域を守る」が、今後の河川整備」と話した。

平成19年12月8日(土)

東日新聞【14面】

豊川防災関連記事

河道改修及び河川環境の整備と保全(1)

河川工事

【環境に配慮した低水路拡幅】

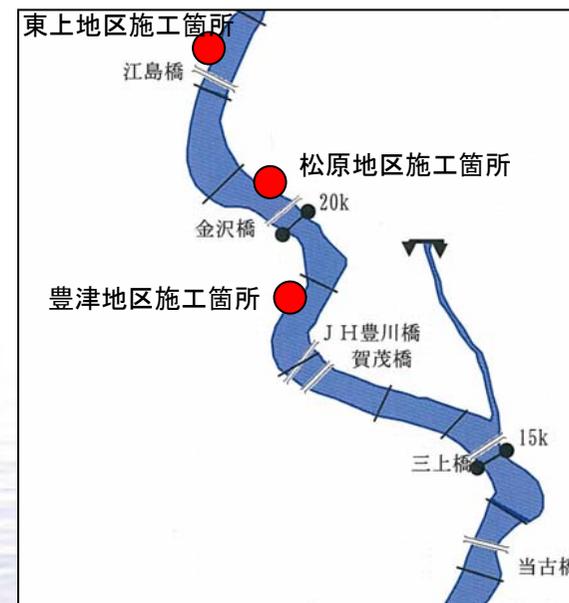
- ・実施にあたっては、樹木管理検討会の助言・指導を得ながら実施した。
- ・現在は、東上地区の低水路拡幅を実施している。

掘削法面
堤防側にはマダケ林が形成され法面上部～法面にはメヒシバやシロザなどの一年草がまばらに生育する。

掘削箇所
掘削箇所の低い位置には水が溜まり、溜まりの周辺にはオオイヌタデなどの湿性植物が生育する。

水際部
本川側の水際部には、ネコヤナギやツルヨシが見られ、湿性植物群落が形成されている。

松原地区(施工後約1年)H19. 3月



位置図

松原地区(現況の写真)H20. 6月

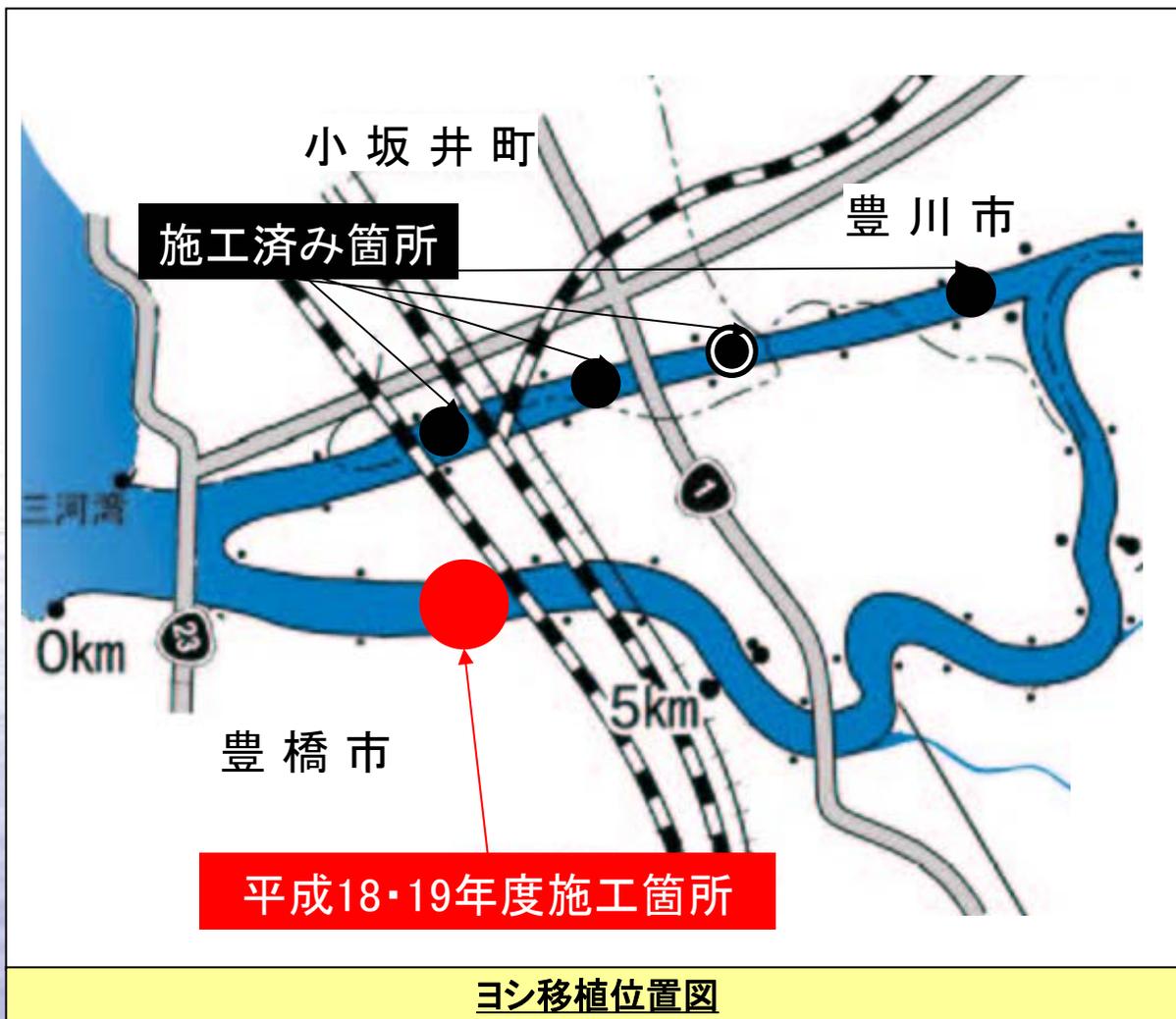
- ・平成17年度に水際の草地環境を保全しつつ掘削工事を実施した。
- ・平成18年度より、その効果等を検討するために、モニタリング調査を実施している。

河道改修及び河川環境の整備と保全（3）

河川工事

【本川下流部におけるヨシ移植】

・本川（下流部）において良好な河川環境の復元・形成のためのヨシ移植を継続実施している。



平成17年度施工箇所の現況



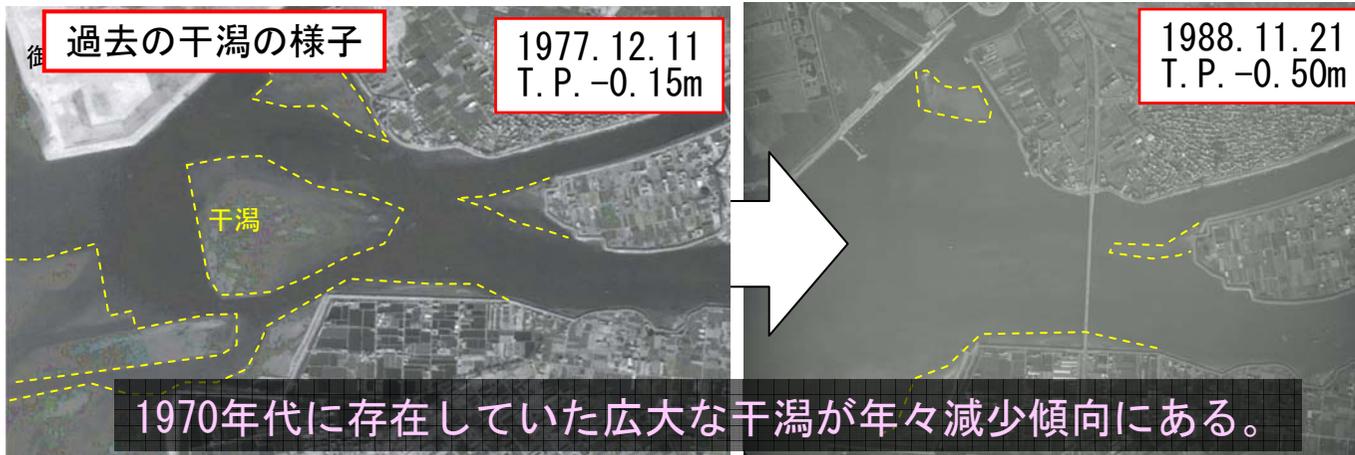
平成19年度の施工状況

河道改修及び河川環境の整備と保全（4）

河川工事

【豊川河口部干潟の試験施工】

豊川河口部において、モニタリングを行いながら干潟の試験施工を実施する。



1970年代に存在していた広大な干潟が年々減少傾向にある。

干潟の変化

1970年代の干潟を目標として、干潟再生の取り組みを実施する。



干潟の再生目標



再生による効果の期待

【今年度の予定】

[上半期]

- ・現地環境調査
(事前モニタリング)
- ・採取土砂の土壌調査
- ・試験施工の詳細設計

[下半期]

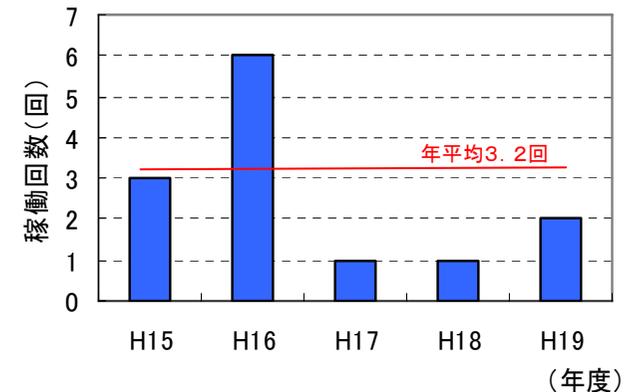
- ・試験施工の実施
- ・現地環境調査
(実施中モニタリング)
- ・次年度以降の検討

内水対策

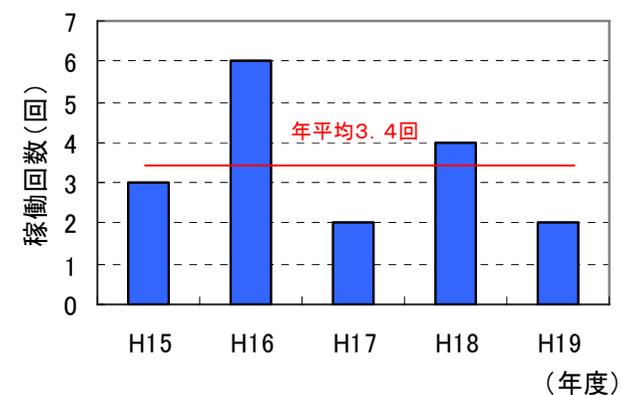
- ・内水地区では、浸水対策として排水機場を設置しており、洪水時に内水排除を行っている。
- ・小坂井排水機場は築41年を経過し機能低下・腐食等の老朽化が著しいため、平成17・18年度の2ヶ年でエンジン・操作制御設備等を更新し、ポンプのオーバーホールを18年度末に完成した。



小坂井排水機場・古川排水場の位置図



小坂井排水機場の稼働状況



古川排水機場の稼働状況

設楽ダムの建設

最近の経過

- | | |
|----------|---|
| 平成19年8月 | 「第29回 豊川の明日を考える流域委員会」において設楽ダム建設事業再評価を実施 |
| 平成19年9月 | 事業評価監視委員会に設楽ダム建設事業再評価の結果を報告 |
| 平成19年12月 | 関係機関に設楽ダム建設に係る総事業費と負担割合を提示 |
| 平成20年1月 | 設楽町が国土交通省と愛知県に7項目の要望書を提出 |
| 平成20年1月 | 愛知県がダム使用权の設定を国に申請 |
| 平成20年1月 | 国土交通省が愛知県知事に設楽ダム基本計画の作成について意見照会 |
| 平成20年3月 | 愛知県知事から意見照会に対する同意の回答 |

設楽ダム建設に関する基本計画

設楽ダム基本計画の作成について、愛知県知事が同意の回答。

1. 目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道

2. 位置及び名称

(1) 位置 : 愛知県北設楽郡設楽町 (2) 名称 : 設楽ダム

3. 規模及び型式

(1) 規模 : 堤高129m (2) 型式 : 重力式コンクリートダム

4. 貯留量、取水量及び放流量並びに貯留量の用途別配分に関する事項

(1) 貯留量 総貯留量 : 98,000千m³ 有効貯留量 : 92,000千m³

(2) 取水量及び放流量並びに貯留量の用途別配分

- ・ 洪水調節容 19,000千m³
- ・ 流水の正常な機能の維持容量 60,000千m³
- ・ かんがい用水容量 7,000千m³
- ・ 水道用水容量 6,000千m³
- ・ 堆砂容量 6,000千m³

5. ダム使用権の設定予定者 愛知県(水道)

6. 建設に要する費用に関する事項

(1) 建設に要する費用の概算額 約 2,070 億円

(2) 建設に要する費用の負担者及び負担額

- ・ 洪水調節、流水の正常な機能の維持 77.7%
- ・ 水道用水 11.0%
- ・ かんがい用水 11.3%

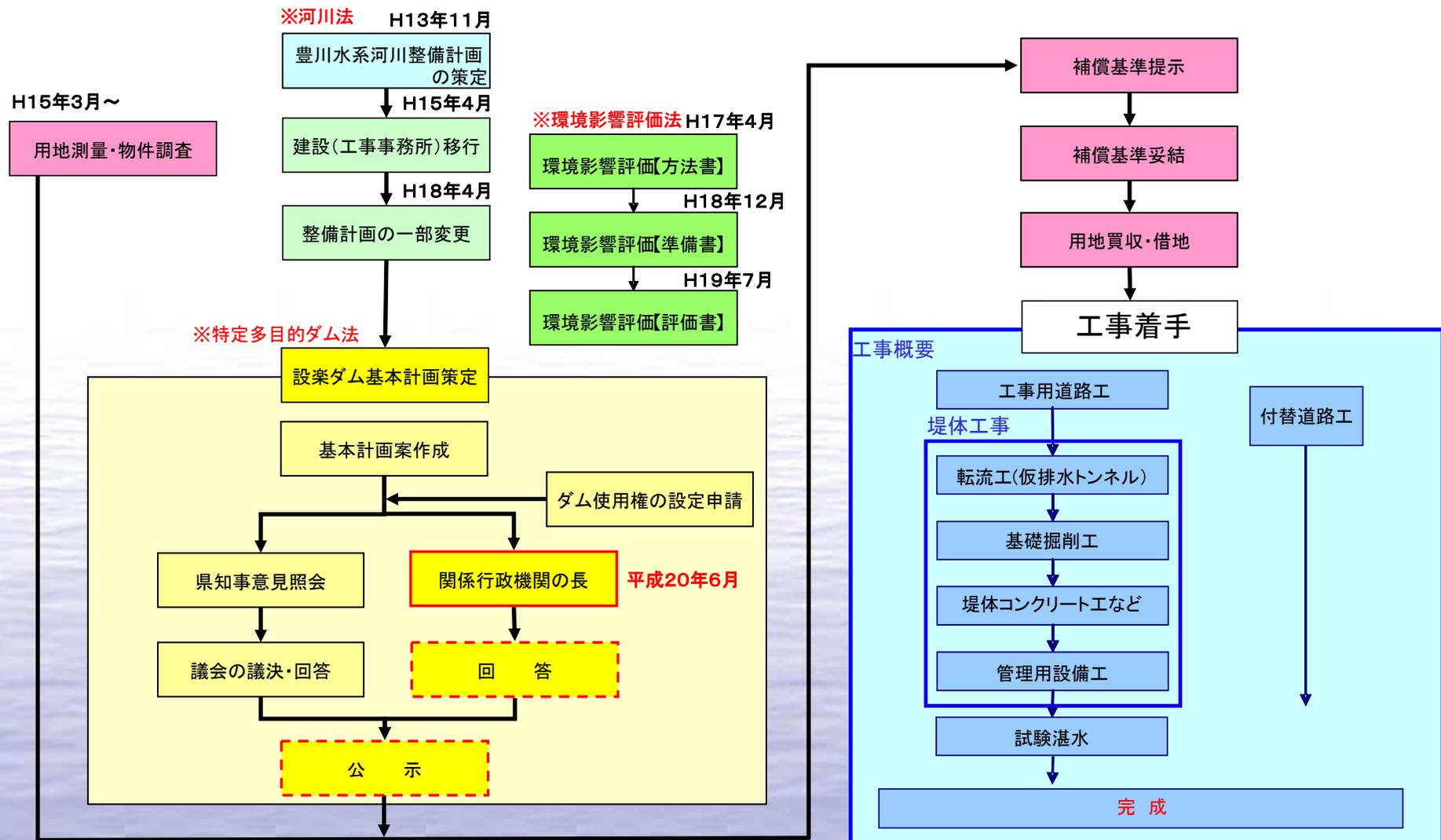
7. 工期 昭和53年度から平成32年度(予定)



東愛知新聞
平成20年3月26日(水)

今後の流れ

今後は、特定多目的ダム法に基づく基本計画を策定し、工事着手を予定している。



河川維持

- ・ 平常時の管理
- ・ 洪水時の管理
- ・ 水質事故への対応
- ・ 水質監視
- ・ 河川情報システムの整備
- ・ 豊川流況総合改善事業

平常時の管理(1)

- ・除草による堤防点検や目的別巡視を活用した点検を実施したほか、出水期前に、水防団等と合同で重要水防箇所合同巡視を実施した。(重要水防箇所についてはH19より堤防詳細点検(浸透)を追加)
- ・河川管理施設(樋門樋管等)については、出水期前点検及び操作人を対象にした水閘門操作講習会を実施した。
- ・許可工作物については、施設管理者と合同で、出水期前点検を実施した。



堤防除草の状況



許可工作物出水期前点検実施状況



平常時の管理(2)

・老朽化や損傷した護岸等を補修するなど、河川管理施設の保全に努めた。



間川 小野田樋管取付護岸の補修

・平成19年7月の台風4号による出水で護岸に被災を受け復旧工事に着手した。また河岸等に大量の漂着物を確認し集積・処理をした。



豊橋市前芝町



松原用水排水樋管(豊橋市行明町)

平常時の管理(3)

- ・施設や環境、河川利用等の状況を把握するため、通常巡視は週2回の一般巡視に加え、週3回目的別巡視を行なった。
- ・通常の河川巡視に加え、出水時(前後を含む)における巡視、また、テロ対策のための特別巡視も行なった。



一般巡視の状況



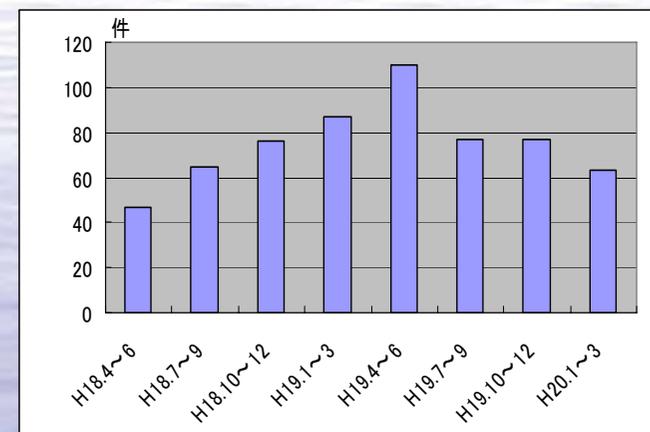
テロ対策巡視(東名豊川橋)



不法投棄(豊橋市賀茂町)



河川管理施設への落書き(豊橋市行明町)



不法投棄発見件数(H18.4より四半期毎)

平常時の管理(4)

【安全な河川敷地利用のための活動】

- ・豊川においては平成19年は釣り人1件、遊泳者2件の計3件の死亡事故が発生した。
- ・河川管理者、地方自治体、警察、消防、ダム・堰管理者及び河川利用者で構成される豊川水系水難事故防止連絡会は、利用者へ安全利用の呼びかけ、構成機関相互の情報共有など、安全な河川敷地利用のための活動を実施した。



河川の利用状況 東名付近



リーフレットを河川利用者に配布



リーフレットの作成



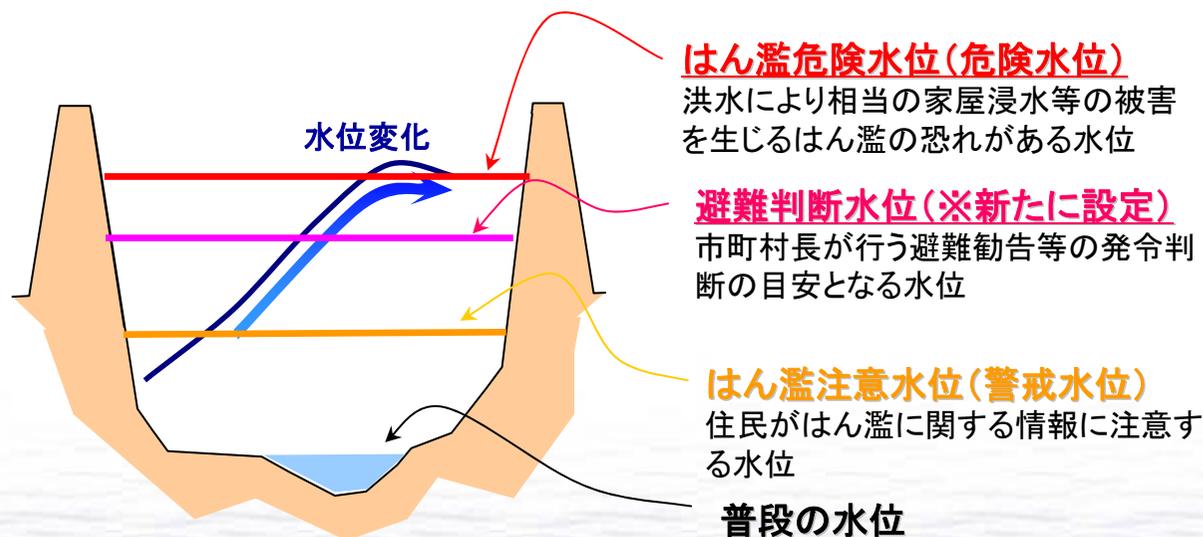
水難防止看板の設置

洪水時の管理(1)

防災体系の見直し(洪水予報等)により、洪水予報において洪水の危険のレベルをわかりやすい表現に改善した。

防災体系の見直し(洪水予報等)

○洪水予報指定河川(豊川・矢作川等)では、豊橋河川事務所・名古屋地方気象台と共同で発表している洪水予報を、平成19年4月19日より、危険度がわかりやすい表現に発表形式を改善しました。



洪水の危険のレベル	洪水予報の種類	洪水予報の標題	洪水予報の基準
レベル5	洪水警報	はん濫発生情報	はん濫が発生した場合
レベル4		はん濫危険情報	はん濫危険水位に達した時
レベル3		はん濫警戒情報	はん濫危険水位を超える恐れのある場合又は避難判断水位を超えなお水位上昇が見込まれる場合
レベル2	洪水注意報	はん濫注意情報	はん濫注意水位に達した場合

洪水時の管理(2)

河川維持

平成19年1月1日から平成19年12月31日までの豊橋河川事務所の風水害に対する体制状況

平成19年1月1日から12月31日までの豊川出水状況(豊橋河川風水害対策支部設置)

月 日	出水の原因	石田水位観測所		放水路のゲート操作	
		時刻	最高水位(m)	時刻	操作の有無
3月25日	寒冷前線通過	7:50	2.34		無
5月25日	低気圧通過	21:20	1.39		無
7月14日 15日	台風4号	15日 7:50	5.63	14日 18:15	有
9月7日	台風9号	1:10	0.02		無
9月12日	前線	7:00	2.73	8:07	有

平成19年7月15日台風4号による出水状況



賀茂霞 浸水状況
(空中写真)



下条霞 県道豊橋鳳来線下野橋付近
(CCTV画像)

水質事故への対応

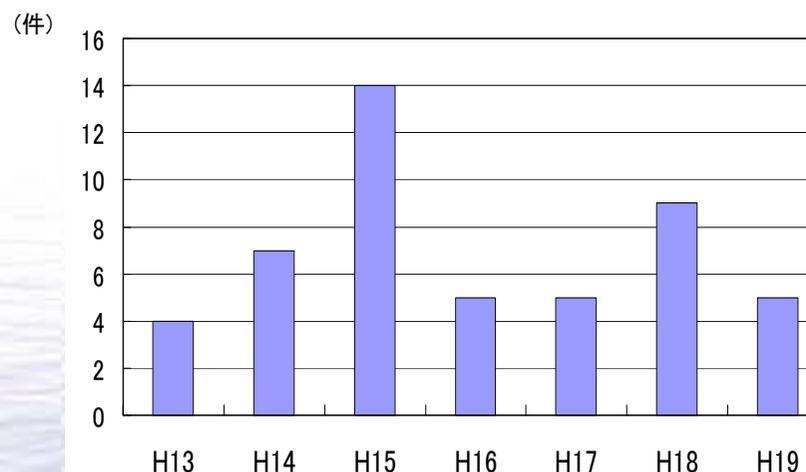
- ・豊川水系での水質事故は平成13年度4件、平成14年度7件、15年度は14件、平成16年度は5件、平成17年度は5件、平成18年度は9件、平成19年度は5件発生した。
- ・豊橋河川事務所は水質汚濁対策連絡協議会の事務局として、水質事故に迅速に対応するため、情報伝達強化を図るとともに、実技講習会を開催した。



水質事故におけるオイルマットによる対応状況(H19.9.14)



水濁協実技講習会状況(H19.11.1)



豊川水系水質事故発生数

水質監視

河川維持

- 環境基準地点(江島橋、吉田大橋、小坂井大橋)及び一般地点(石田、当古橋)の水質を毎月調査し、その結果をホームページにて公開している。
- また、当古地点においては、水質自動監視装置によるリアルタイムデータ(速報値)の提供を行っている。

生活環境の保全に関する環境基準 河川



項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質濃度 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	50 MPN/100 以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	1,000 MPN/100 以下
B	水道3級、水産2級、及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	5,000 MPN/100 以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/ℓ 以下	50 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8 mg/ℓ 以下	100 mg/ℓ 以下	2 mg/ℓ 以上	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10 mg/ℓ 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/ℓ 以上	

ブックマーク(B) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

<http://www1.river.go.jp/cgi/DspWquaData.exe?KIND=5&ID=405061285512050&BGNDATE=20080102&ENDDATE>

水質自動監視検索結果

観測所記号	観測所名	水系名	河川名
405061285512050	当古(とうこ)	豊川	豊川

年月日	時分	採水位置	水温 (°C)	pH	DO (mg/l)	導電率 (ms/m)	濁度 (度)	COD (mg/l)	シアンイオン (mg/l)	音字:音定値
2008/01/02	01:00	流心	7.2	6.9	10.8	10.2	3.0	1.5	0.0	
2008/01/02	02:00	流心	7.2	6.8	10.7	10.5	3.0	1.5	0.0	
2008/01/02	03:00	流心	7.3	6.8	10.6	10.4	3.0	1.6	0.0	
2008/01/02	04:00	流心	7.0	6.8	10.4	10.6	2.0	1.5	0.0	
2008/01/02	05:00	流心	7.0	6.8	10.3	10.6	3.0	1.4	0.0	
2008/01/02	06:00	流心	6.9	6.8	10.2	10.6	3.0	1.4	0.0	
2008/01/02	07:00	流心	6.7	6.8	10.2	10.6	2.0	1.4	0.0	
2008/01/02	08:00	流心	6.8	6.8	10.1	10.6	2.0	1.4	0.0	
2008/01/02	09:00	流心	6.5	6.8	10.1	10.6	2.0	1.4	0.0	
2008/01/02	10:00	流心	6.6	6.8	10.4	10.7	2.0	1.3	0.0	
2008/01/02	11:00	流心	6.9	6.8	10.9	10.6	2.0	1.4	0.0	
2008/01/02	12:00	流心	7.2	6.9	11.3	10.7	2.0	1.3	0.0	
2008/01/02	13:00	流心	7.3	6.9	11.5					
2008/01/02	14:00	流心	7.8	6.9	12.0					

<http://www.river.go.jp>

水質類型区分

HP画面

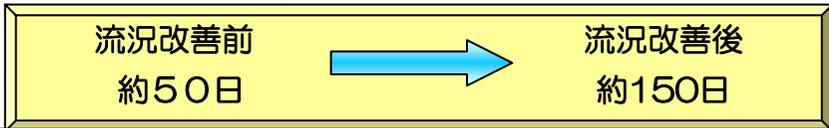
豊川流況総合改善事業

豊川流況総合改善事業で平成14年度に完成した寒狭川頭首工及び寒狭川導水路の維持・管理を行うとともに、豊川水系の河川流水の総合的な運用を図っている。

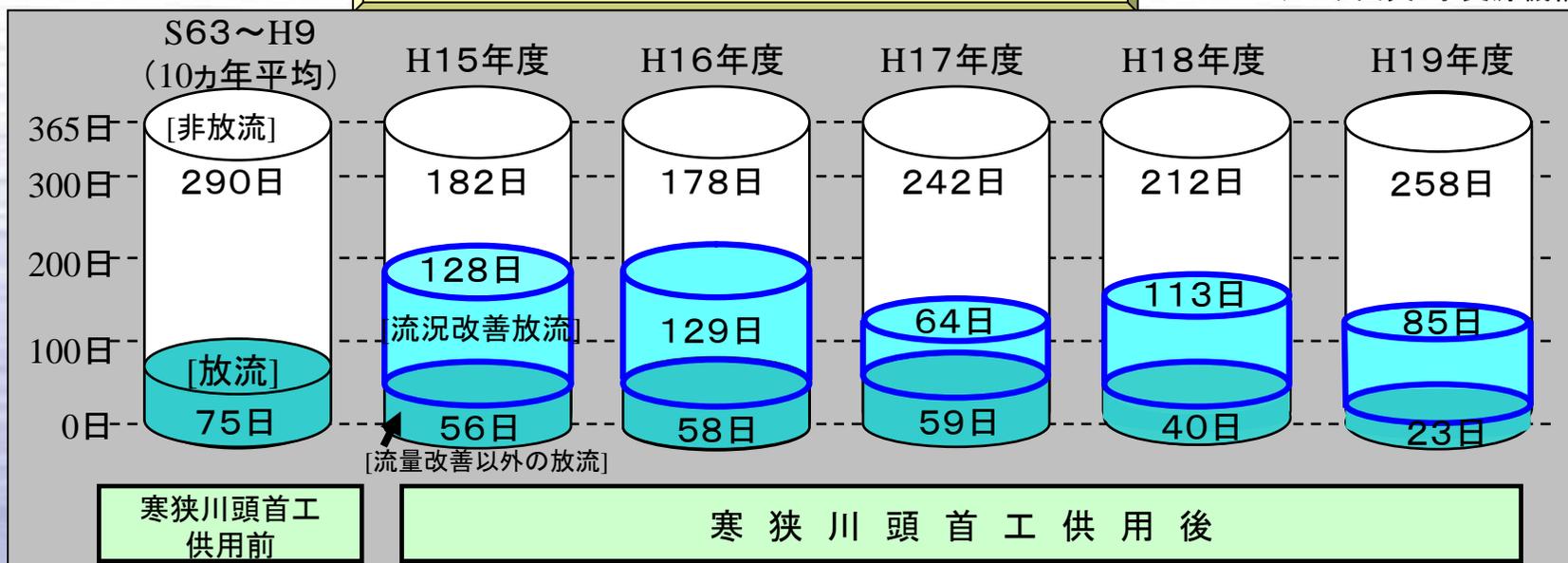


※大野頭首工下流部が枯渇するため、寒狭川の流量が多いときに寒狭川導水路にて最大1.3 m³/秒を導水し、大野頭首工下流にこれを放流して、流況を改善する

大野頭首工下流の改善効果



データ出典: 水資源機構



豊川流況総合改善事業に関する 環境モニタリング調査結果

【流況改善区間】

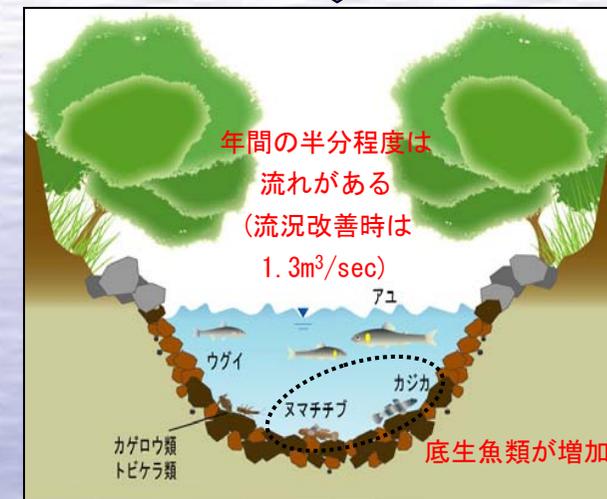
流況改善区間では、底生魚類の種類・個体数の増加及び回遊魚の個体数を継続確認している。

◆流況改善区間における調査地点



【事業前】

・年間310日程度は、大野頭首工からの放流がなく、瀬切れや流れのない区間が存在しました。



【事業後】

・事業実施により年間の半分程度は流量が増加し、早瀬の出現、瀬切れの解消等が確認され、アカザやカジカ、ヌマチチブを始めとした多様な底生魚類が生息するようになり、回遊魚も継続して確認されています。

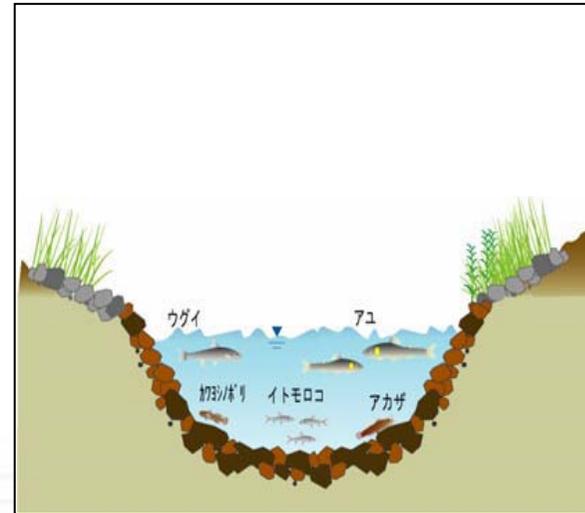
豊川流況総合改善事業に関する 環境モニタリング調査結果

【寒狭川頭首工下流】

寒狭川頭首工下流区間では、イトモロコなどの止水性魚類の確認個体数が増加している。

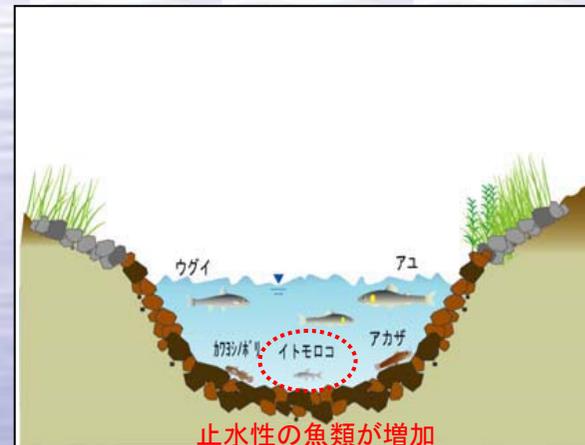
※流れの緩やかな環境を好む魚

◆寒狭川頭首工下流における調査地点



【事業前】

・事業実施前はウグイやアユなどの豊川上流域で普通にみられる魚類が生息していました。



【事業後】

・事業実施後はウグイやアユなどの従来の魚類相のほか、イトモロコなどの止水性魚類の確認個体数が増加しました。

豊川流況総合改善事業の事後評価

■ 評価

中部地方ダム等管理フォローアップ委員会において、事業完成後5年での事後評価を行った結果、十分な効果を発揮しているとの評価を受けた

■ 今後の調査・改善措置

① 今後も、流況改善状況と水質・生物の変化等を把握

② 現時点では、改善措置の必要性はありませんが、今後もよりよい管理に向けて必要な検討を行ないます

③ 流水の正常な機能の維持に関する効果等に対する評価手法については、今後も検討していきます

その他の事項

- ・ 河川情報の公開・提供の促進
- ・ 河川の協働管理
- ・ 防災意識の向上

河川情報の公開・提供の促進

その他の事項

- ・ホームページでの情報提供と意見収集している。(平成19年アクセス数:約420,000)
- ・豊川流域圏内のイベント情報などを掲載したメールマガジンを月2回の頻度で配信している。



国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所

防災情報
> 事務所発表情報

豊川、矢作川の改修・管理・環境整備、
豊川流況改善施設の維持・管理・流水管理ならびに
上矢作ダム調査を担当しています。

豊川(とよがわ) 矢作川(やはぎがわ)

事務所概要

事務所のご案内	インフォメーション
事務所長あいさつ	入札・契約情報
豊橋河川事務所	入札結果情報
豊川出張所 / 一宮出張所	随意契約結果の公表
岡崎出張所 / 安城出張所	国有地売却情報
豊川KAWAKKO資料館	用地取得の進捗状況等
事務所の沿革	その他
各種パンフレット	河川の安全利用
観測・調査結果	とよがわやはぎがわ日記
川の防災情報	水質事故状況
水文・水質データ	川と海のクリーン大作戦
河川水辺の国勢調査	川のイベント情報
川の通信簿	よくあるお問い合わせ(Q&A)
	関連リンク

ホームページ

* * * * とよがわ流域圏メールマガジン (第72号) * * * *

- [0344] 「とよがわ防災減災フォーラム～防災意識の伝承～」開催のお知らせ
- [0345] 平成19年度「豊川水系及び矢作川水系水質事故状況」を更新しました
- [0346] 「第6回とよがわ流域圏こども会議」を開催しました
- [0347] 「とよがわ流域大学・流域圏講座」受講生募集のお知らせ
- [0348] 「東三河ふるさと公園自然観察会」開催のお知らせ
- [0349] 「西の浜クリーンアップ」、「海の環境を学ぶ会～スナメリ観察会」開催のお知らせ
- [0350] 「第27回穂の国森のセミナー」開催のお知らせ
- [0351] 「森林ボランティアリーダー養成講座」開催のお知らせ

○中部管内の濁水状況 →

<http://www.tco-ip.or.jp/%7Ekasenbu/kassui/top.htm>

○11月のイベント情報 →

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/tovogawa-unity/event/11.html>

○12月のイベント情報 →

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/tovogawa-unity/event/12.html>

豊川流域圏倶楽部メールマガジンの一例

河川の協働管理

その他の事項

- ・平成14年度より、河川愛護・三河湾浄化を目指して「川と海のクリーン大作戦」を地域の住民と一緒に実施している。
- ・「やろまいか 郷土の川や海岸をみんなでクリーンアップ」をスローガンに実施し、豊川流域圏では平成19年度3,305人が参加した。

郷土の川や海岸をみんなでクリーンアップ!

川と海のクリーン大作戦

平成19年 10/28日

朝し、地域によって異なる場合があります。下記の問い合わせ先まで確認の上、ご参加ください。

次の世代に残したいものがあるから

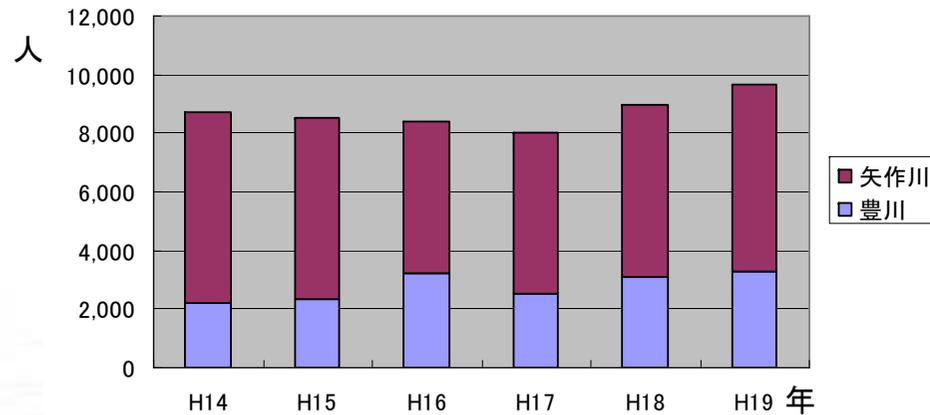
川と海のクリーン大作戦は、川と海の環境をきれいに保ち、次世代に引き継いでいくことを目的に、地域住民、自治体、民間が一体となって川と海の環境のきれいを保つ活動です。参加が当たり前になることを目指し、地域を「魅力」を発見するチャンスと捉え、この機会にぜひ、ご参加ください。

お問い合わせ先

国土交通省 豊川河川事務所 TEL:0532-51-2535 豊橋市環境衛生課 TEL:0539-41-3371
TEL:0532-48-1056
豊橋市環境衛生課 TEL:0539-20-4972 豊橋市環境衛生課 TEL:0539-34-7171
豊川河川事務所 TEL:0532-58-2142 豊橋市環境衛生課 TEL:0539-74-1111
豊橋市環境衛生課 TEL:0539-23-7935 豊橋市環境衛生課 TEL:0539-04-6334
豊橋市環境衛生課 TEL:0539-23-4251 豊橋市環境衛生課 TEL:0539-08-2221

http://www.cbr.mlit.go.jp/clean/index.htm

ポスター



川と海のクリーン大作戦参加者の推移(三河地区)



新城市での実施状況(H19.10.28)



豊橋市での実施状況(H19.10.28)

防災意識の向上(1)

その他の事項

平成17年8月3日に、「豊川・矢作川災害情報協議会」を発足し、洪水ハザードマップの作成等の支援を行い、平成19年8月までに豊川関連市町の公表が完了した。

【豊川構成機関】

豊橋市
豊川市
新城市
小坂井町

【会務】

1. 災害関連情報の共有化
2. 各機関の災害対応を円滑に行うための方策等の検討
3. 各沿川市町村のハザードマップ整備に関する一体的取り組み及び情報交換
4. ハザードマップ整備における課題と問題点、解決策の検討
5. その他本会の目的を遂行するために必要と認められる事項

関連市町のハザードマップ公表状況

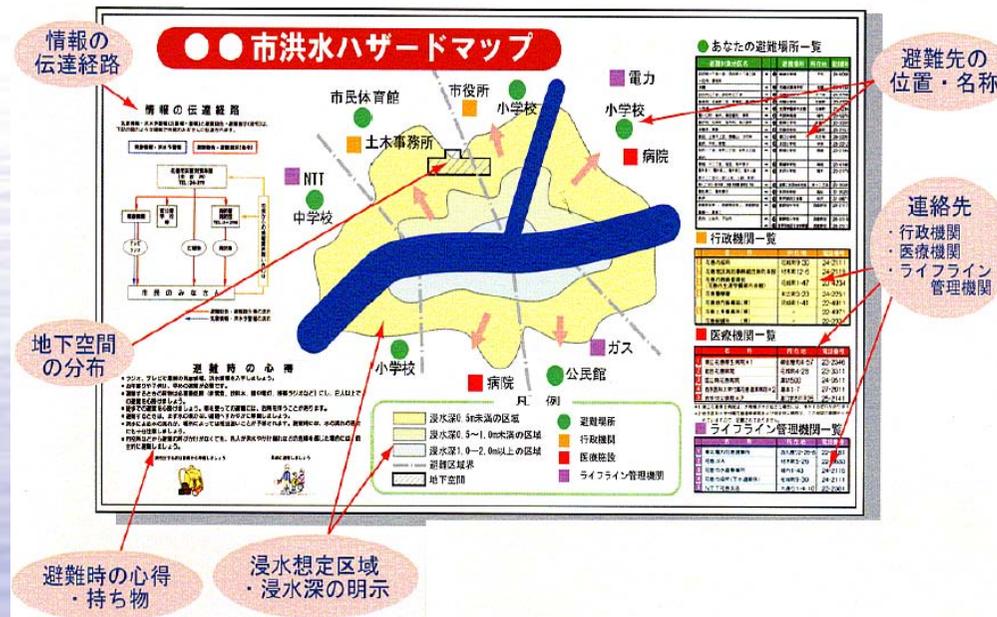
【豊橋市】:平成14年12月公表

【豊川市】:平成15年1月公表

【旧一宮町】:平成15年1月公表

【新城市】:平成19年8月公表

【小坂井町】:平成14年12月公表



防災意識の向上(2)

その他の事項

【とよがわ防災減災フォーラム】

・近年多発している水害・土砂災害を踏まえ、災害に強い地域づくりを進めていくにあたっての豊橋河川事務所の役割及び国・地方自治体・地域住民が適切な役割分担の下に防災対策に取り組んでいくことの重要性を地域住民にご理解いただくことを目的として開催し、約300名の方が来場した。

パンフレット

とよがわ防災減災フォーラム
 死者9、不明6人
 生き埋めのあ、つぐ
 愛知、静岡、長野に被害
 豊川がはらん

参加者募集 参加無料
 平成18年 12/7 金
 14:00～16:00
 受付開始/13:30
 豊橋市公会堂
 豊橋市八町通2-22
 アクセスは裏面をご覧ください

12:00より会場にて **災害対策車や防災グッズ、パネルの展示**
 平時では見られない車両を展示します。 展示コーナーは事前申し込み不要です。

フォーラムの開催状況



【パネリスト】
 藤田佳久 愛知大学教授
 豊川の明日を考える流域委員会 委員長
 柴田輝明 豊川市消防団 団長
 栗田暢之 レスキューストックヤード代表
 山本志織 気象予報士
 山崎真一 豊橋河川事務所長

【コーディネーター】
 小嶋富男 元NHK報道局 気象・災害センター長

豊橋市公会堂

流域圏一体化

- ・ 関係機関・地域住民との連携
- ・ 閉鎖性水域である三河湾浄化への取り組み

関係機関・地域住民との連携（1）

流域圏一体化

【総合学習支援等】

- ・水生生物調査（小中学校13校の児童などの参加 H19参加者数:約870人）
- ・KAWAKKO資料館でのコミュニケーションの促進（H19年来館者数:7,201人）
- ・出前講師
- ・豊川放水路分流堰の見学案内
- ・アクアフェスタ等のイベントでの広報



出前講師



水生生物調査の様子



KAWAKKO資料館での総合学習



豊川放水路見学会



関係機関・地域住民との連携 (2)

流域圏一体化

【とよがわ流域圏こども会議】

豊川の上・中・下流の小学生が、水生生物調査や、川や水に関係した取り組みを通じて、豊川流域圏の現状・課題を考えていく場として、平成14年度から開催され、H19年度で6回目である。

平成19年度は、5校の児童が発表し、約150名の参加者と来場者が集まった。今回は水循環をテーマとしたネイチャーゲームも実施した。



新城市 新城市商工会館 大研修室



ネイチャーゲーム



昼食交流会でNPO等の活動紹介

関係機関・地域住民との連携(3)

流域圏一体化

【とよがわ流域大学・流域圏講座】

・とよがわ流域圏住民が、とよがわ流域圏が抱える実態、諸課題に対し正しい認識を持ち、その諸課題を解決するための市民参加型活動に積極的に参加するような担い手の育成を目指している。

○様々な機関(地方自治体、国、大学、NPO等)との人的ネットワークを形成する。
 ○地域が抱える諸課題を多くの機関等に伝え、それを解決に結びつける役割を担える人材を育成する。

パンフレット



講座の開催状況

日程	テーマ	講師
第1回 10月20日(土)	「豊川水系の総合的な保全と利用」	鈴木信弘 国土交通省豊橋河川事務所副所長 飯田 眞 愛知県地域振興部土地水資源課主幹
第2回 10月27日(土)	豊川流域の水の循環	井上隆信 豊橋技術科学大学建設工学系教授 瀬藤重行 愛知県環境部水地盤環境課主幹
第3回 11月10日(土)	「豊川流域圏づくりの基本視点」	戸田敏行 (社)東三河地域研究センター常務理事 黍嶋久好 愛知大学三遠南信地域連携センター上席研究員
第4回 11月17日(土)	「五ヶ瀬川ふるさと水回廊倶楽部の活動に学ぶ」	五ヶ瀬川ふるさと水回廊倶楽部
第5回 11月24日(土)	「“ひろしまね”の活動に学ぶ」	特定非営利活動法人 ひろしまね
第6回 12月1日(土)	「フィールドワーク①」	—
第7回 12月8日(土)	「宮川流域ルネッサンス事業に学ぶ」	宮川流域ルネッサンス協議会
第8回 12月15日(土)	「しずおか流域ネットワークの活動に学ぶ」	しずおか流域ネットワーク
第9回 12月22日(土)	「フィールドワーク②」	—
第10回 2008年 2月16日(土)	「公開成果報告会・シンポジウム・修了式」	パネリストは国土交通省、愛知県、NPO法人、地元行政関係者、研究者等を予定。

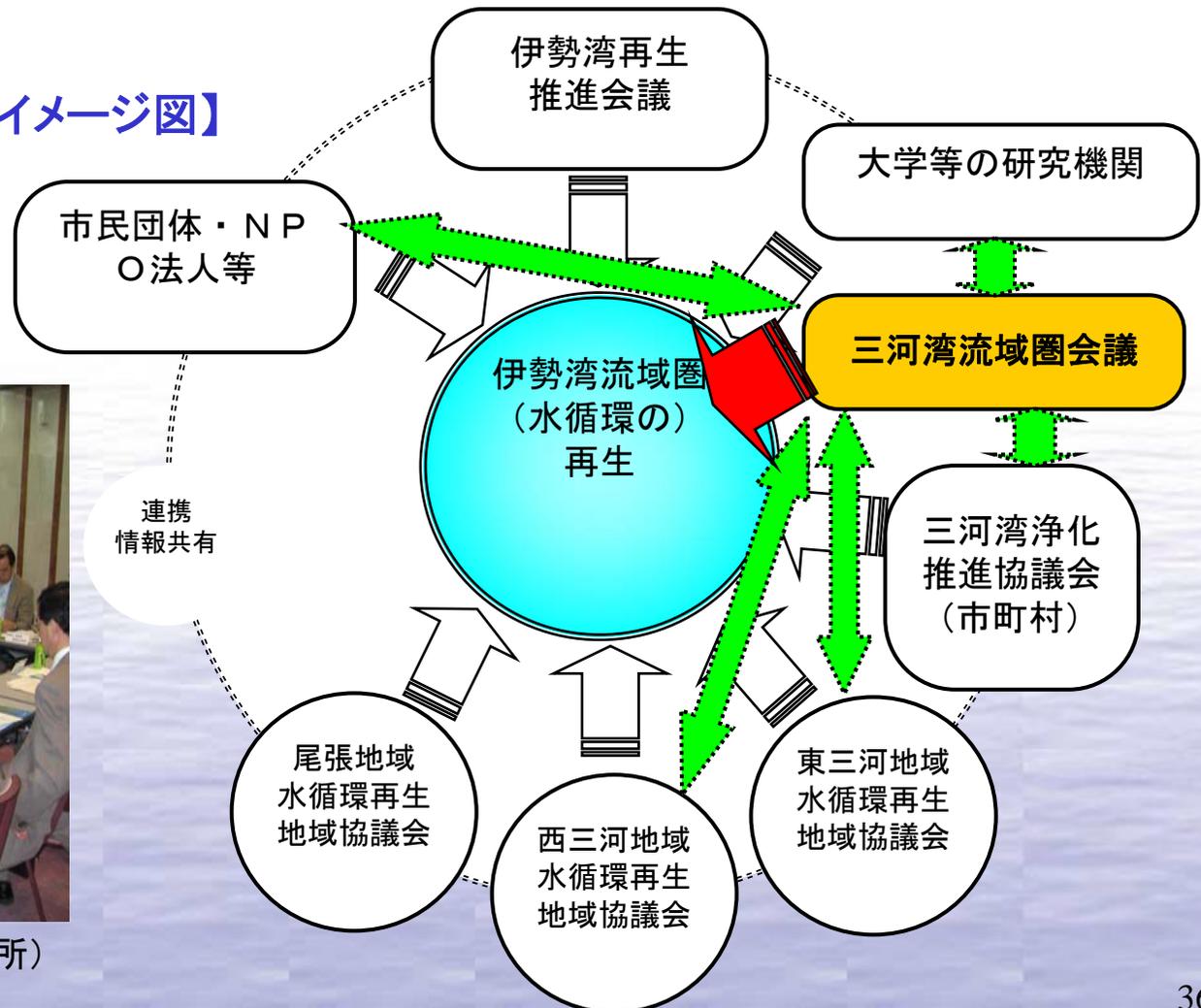
三河湾浄化への取り組み(1)

流域圏一体化

【三河湾流域圏会議】

- ・三河湾流域圏会議は、三河湾流域圏の森・川・海までの健全な水・物質循環の構築 を目指して、産・学・官・民の代表者で組織し、昨年10月に設立しました。
- ・今年3月に開催しました三河湾流域圏会議にて、三河湾流域圏再生行動計画を策定しました。
- ・今後は、関連する組織、団体と情報共有、連携を図りながら、この再生行動計画を推進していきます。

【イメージ図】



第1回三河湾流域圏会議(豊橋商工会議所)

三河湾浄化への取り組み(2)-1

【シーブルー事業】

- ・平成16年度までに、中山水道航路整備と連携して、約620haの干潟・浅場造成、覆砂を行った。その結果、造成区域では、周辺海域と比べDO(溶存酸素)値が高くなるなど水質、底質の改善や、底生生物の増加、生物の多様化といった効果が見られた。
本事業については、平成18年度土木学会環境賞を受賞した。

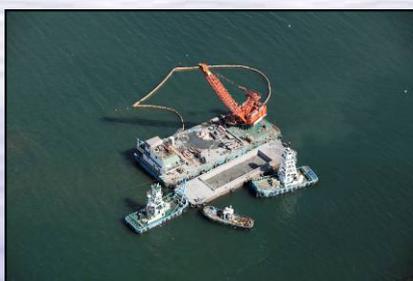


シーブルー事業の実施箇所

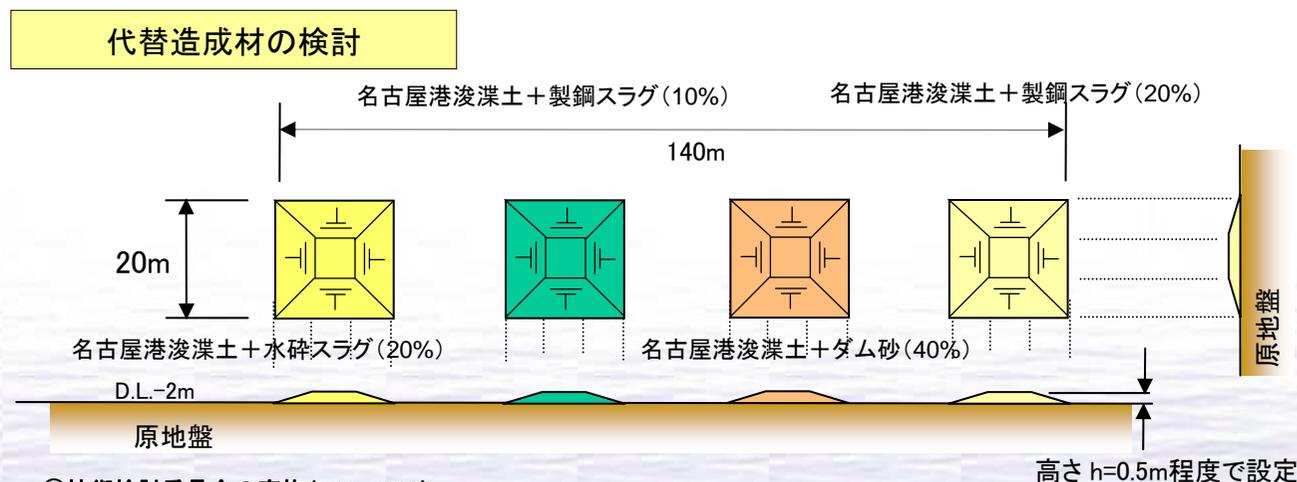
三河湾浄化への取り組み(2)-2

【新たな干潟等造成材の検討】

・三河湾の環境改善のためには、さらなる干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡の埋戻しが必要である。事業継続の地元要望も高いことから、中山水道航路浚渫砂に代わる新たな造成材の検討を進めている。



実海域試験実施状況（混合材打設）

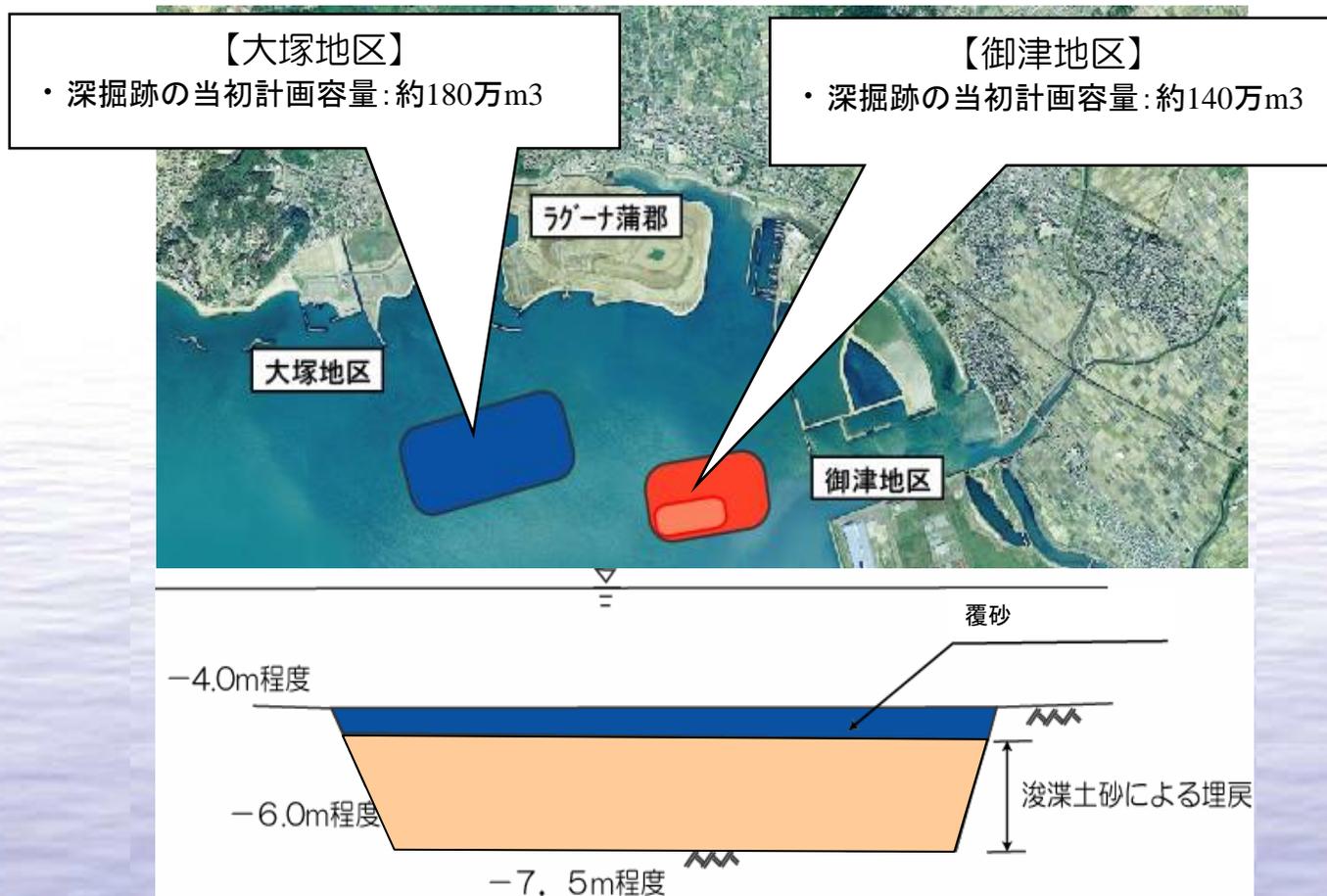


- ・ ①技術検討委員会の実施(H18～H20)
- ・ ②実海域試験工区造成工事の実施(H19)
- ・ ③実海域試験のモニタリング(H19～H20)
 - ・ 1)浅場造成材料としての混合材の性状の検討(pH、含水比、ベーン試験、COD、硫化物等)
 - ・ 2)海域における混合材の安全性の検討(周辺の水質確認試験(pH、COD、全窒素、全リン、DO、SS等)、環境影響確認試験(1回 or 2回:カドミウム、六価クロム等)
 - ・ 3)生物生息場としての混合材の適性試験(マクロベントス、メイオベントス)

三河湾浄化への取り組み(2)-3

【深掘跡の埋戻し】

- ・三河湾(三河港御津地区、大塚地区)において、苦潮(青潮)の原因となる貧酸素水塊の発生場所の1つである深掘跡の埋戻し事業を、国土交通省と愛知県が協力して実施しています。



深掘跡の埋戻し事業の実施箇所